

## 令和7年度要望活動

新座市、清瀬市、所沢市及び練馬区で構成する「都市高速鉄道12号線延伸促進協議会」は、大江戸線の光が丘駅からJR武蔵野線東所沢駅までの間の延伸について、1月13日（火）に東京都、1月16日（金）に埼玉県へ、それぞれ要望書を提出しました。

東京都の三宮都市整備局理事からは、「補助230号線の整備については、順調に用地取得を進めており、工事は、白子川をまたぐ橋梁の下部工事に着手、街築工事なども順次実施する予定としている。引き続き、沿道のまちづくりと連携を図るとともに、地元の理解と協力を頂きながら本路線の整備を推進してまいりたい。光が丘から大泉学園町までの延伸については、一定の状況を仮定した試算において収支採算性の改善がみられたが、旅客需要の創出やコストの低減、財源の確保・活用について更なる検証が必要な状況である。引き続き、練馬区と一層連携を図りながら、検討を深めてまいりたいと考えている。また、大泉学園町から東所沢までの延伸については、輸送需要を確保するためにも、まちづくりの取組を進めていただくことが不可欠である。沿線地区の皆様には引き続き、御尽力いただきたい。」とのコメントを頂きました。

また、埼玉県への要望では、大野知事から、「本県の優れた交通ネットワークを最大限に活用し、交通利便性を更に向上させるため、「あと数マイル・プロジェクト」を自らの公約の一つに掲げている。昨年度からは、「あと数マイル・プロジェクト」推進検討会議を設置し、近年の社会情勢の変化などを踏まえた今後取り組むべき方向性について、検討している。地元自治体では、まちづくりの取組を進めていると承知しているが、延伸実現に向けてまちづくりの推進は大変重要と考える。今後も皆様とより一層緊密に連携しながら、延伸実現に向けて一つ一つ着実に推進してまいりたい。」とのコメントを頂きました。

協議会では、地下鉄12号線が早期に延伸されるよう、今後とも積極的に活動してまいります。

東京都への要望の様子



埼玉県への要望の様子

